

平成23年5月31日

お 知 ら せ

資料提供

三次記者クラブ

尾道松江線の橋梁見学会を行います

～街を跨ぐ橋としては尾道松江線最長の海田原橋かいだはらを小学生が見学～

地元の小学生を対象とした中国横断自動車道尾道松江線海田原橋の現場見学会を三次市吉舎町海田原地内で行います。

中国横断自動車道尾道松江線は、瀬戸内と日本海を結ぶ幹線道路として輸送時間を短縮し、一般道の混雑緩和や沿線地域の経済・文化活動の活性化に重要な役割を果たすのはもちろん、災害時の代替路として中国地方にとって無くてはならない高速道路となるものです。

今回の見学会では、日頃は下から見上げているだけの海田原橋の橋上に実際に上がり、橋の長さや高さを実感していただきます。この体験を通して、尾道松江線が開通した状況をイメージしていただきたいと考えています。

日 時 : 平成23年6月2日(木) 11:00～12:00

(雨天の場合は、平成23年6月6日(月)に順延。その際は別途お知らせします。)

場 所 : 海田原橋工事現場

(三次市吉舎町海田原地内: 詳細は別紙のとおり)

対 象 : 吉舎小学校、八幡小学校(徳市分校を含む)及び安田小学校
の5・6年生の児童62名

※構造物の名称は、仮称です。

●問い合わせ先 国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所

副所長(道路担当)

新宅 清人

【担 当】調査設計課長

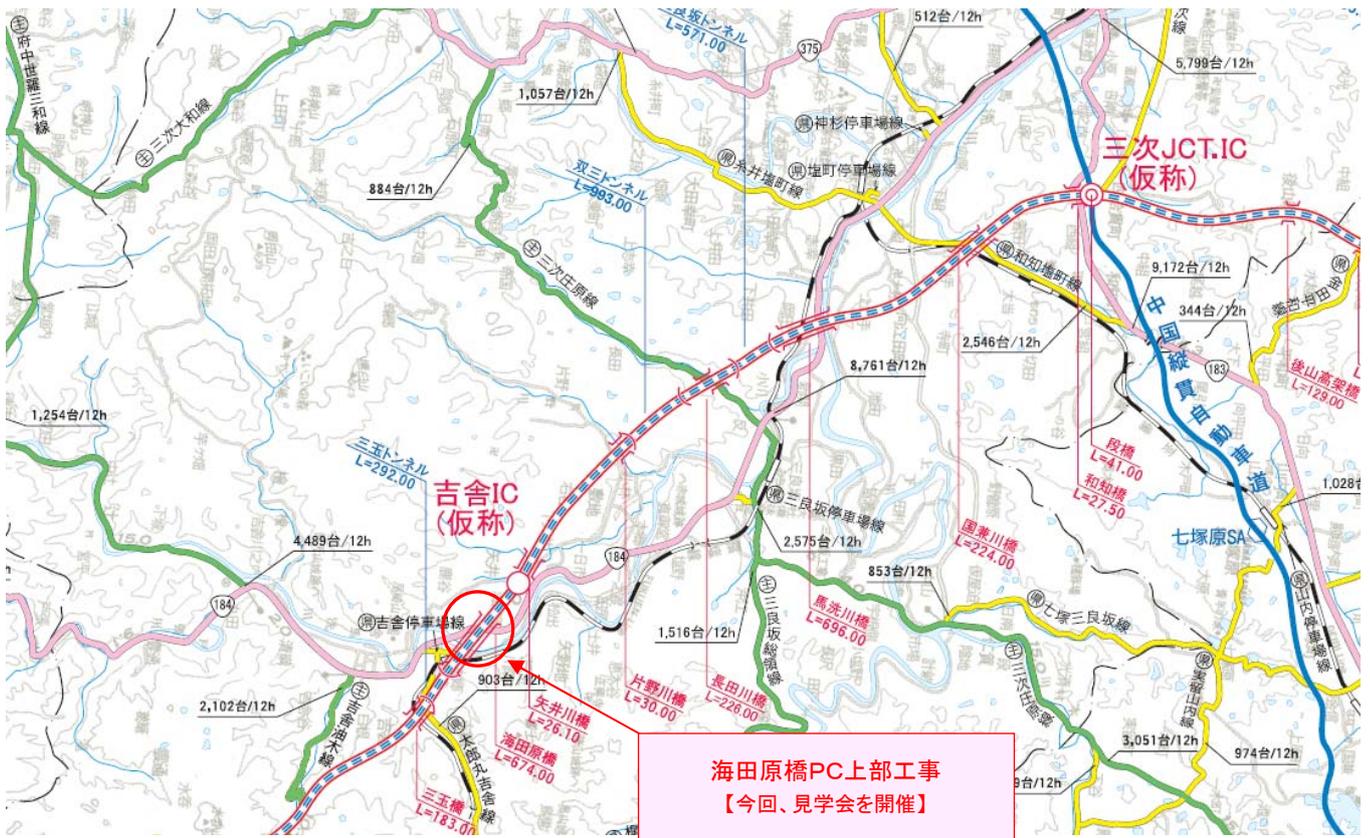
景山 浩孝

【広報担当】建設専門官

中井 喜美男

TEL:(0824) 63-4121(代表)

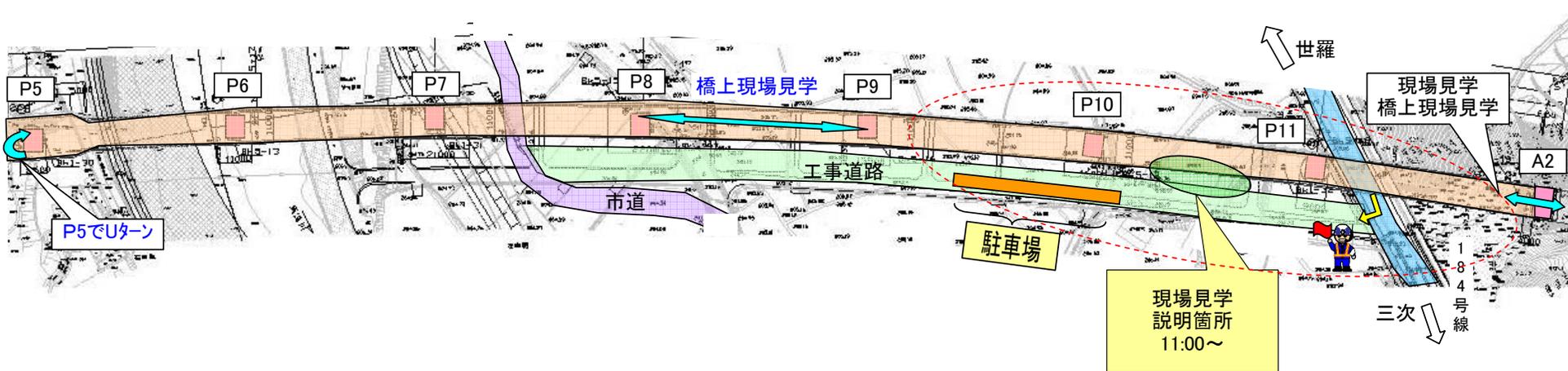
位置図



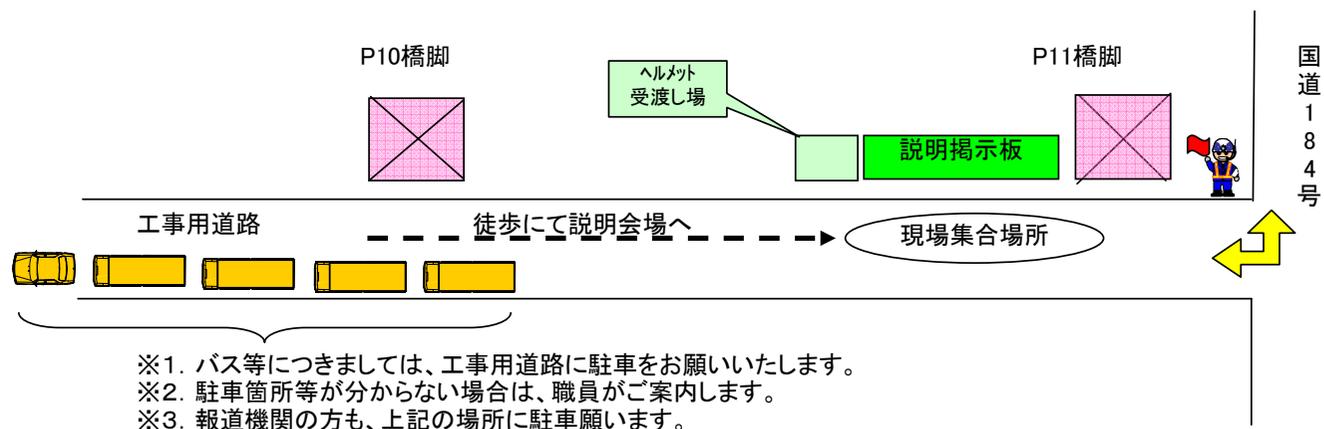
現地状況写真



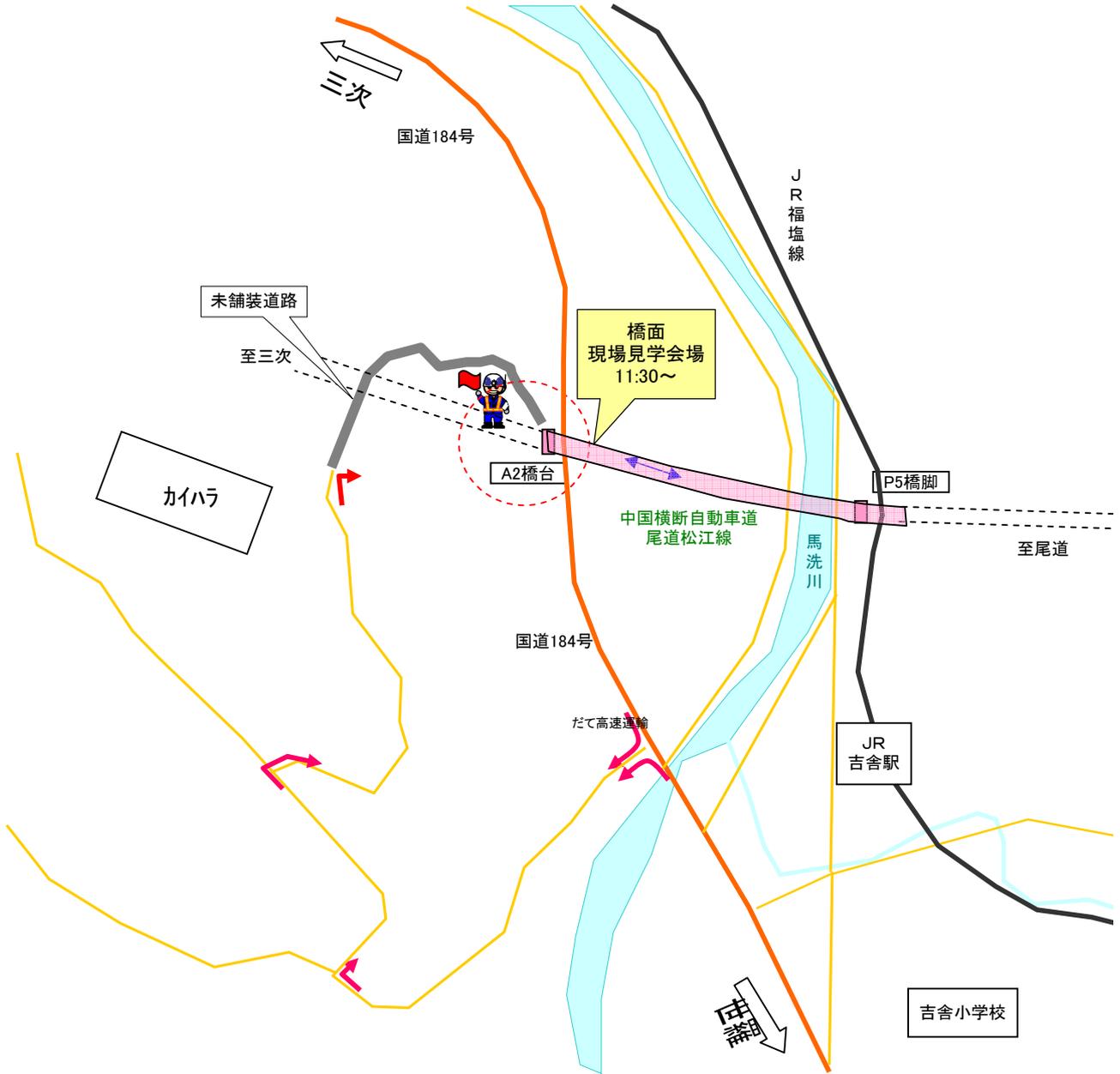
現場見学会場案内図（工事説明・ヘルメット受渡し 11:00～）



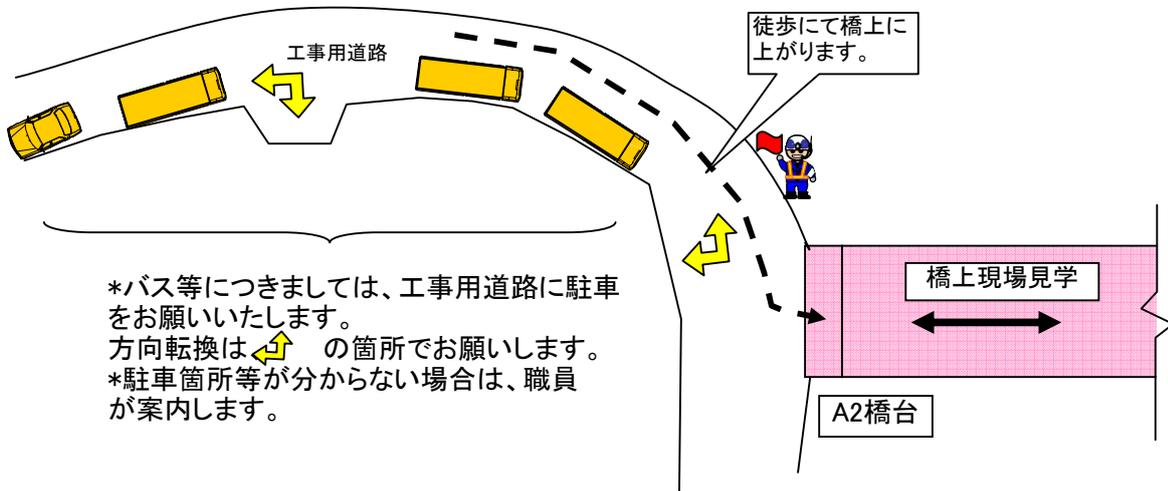
現場見学説明会場詳細図



現場見学会場案内図（橋面からの見学 11:30～）



現場見学会場詳細図



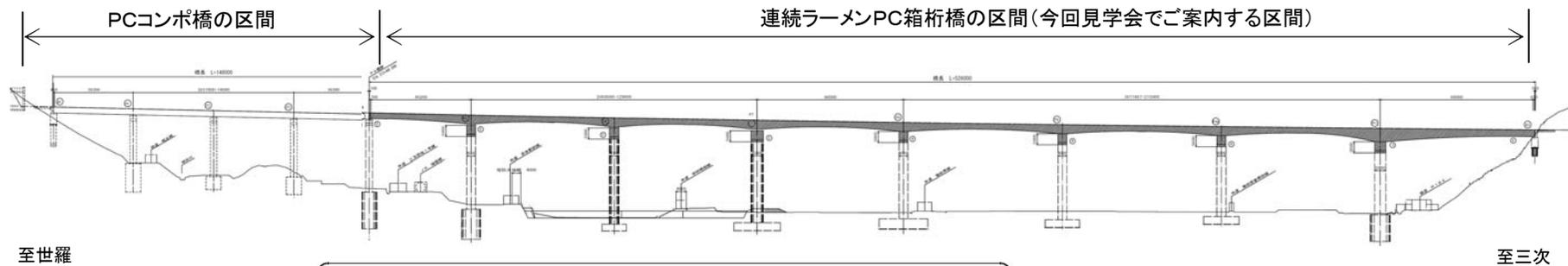
海田原橋^(仮称)の工事について

海田原橋は、橋長674m幅9.25m地上高約40mのコンクリート橋で、平成19年10月から下部工に、平成20年10月からは上部工にそれぞれ着手し、今年3月に一部区間(526m)がつながりました。

このうち今回見学会を開催する範囲は、連続ラーメンPC箱桁橋という橋梁形式で、山岳部など柱と柱の間が長く、高所の施工でよく採用される、「やじろべえ工法」とも言われる、両手を伸ばすように橋の架設をしていく「張出し架設工法」を採用しています。

具体には、先端に移動作業車(ワーゲン)を設置し、その中で型枠、鉄筋を組立て、コンクリート打設を行い、引っ張り力を与えることで強度を高め、次のブロックにワーゲンを移動。これを繰り返しながら進めてきました。

なお、残る区間はPCコンポ橋という橋梁形式で、工場で製作されたコンクリートの板を床版として使用することを通して、工事現場での工期の短縮・作業の軽減が図れる工法を採用しています。この区間についても現在工事に着手しているところです。



(参考)

尾道松江線 橋長ランキング(新直轄区間Top3)

第1位	御調川橋 ^{みつぎがわ}	741m
第2位	馬洗川橋(岡田高架橋) ^{ばせんがわ}	696m
第3位	海田原橋	674m